

# 消 防 訓 練 実 施 通 知 書

北後志消防組合消防長 様		年 月 日
届出者 住 所 法人名 職氏名		
防火対象物所在地	電話	
防火対象物名称	主要用途	
訓練実施予定日時	年 月 日 時 分 開始予定	
想	1 出火想定日時	1 通常勤務時間 2 休日 3 夜間 4 その他 ( )
	2 出火想定場所	
	3 覚知と周知の方法	1 出火場所付近に居合わせた者が発見し、通報班に知らせる。 2 自動火災報知設備の発報で覚知し、受信機付近に居合わせた者が出火場所の検索と確認を行う 3 その他～
	4 指定避難場所	
	5 訓練参加人員	出火時の要保護者数 人      その他 人 出火時の勤務者数 人      合 計 人
定	事前の予告	1 訓練実施者に上記の1. 2. 3. 4. 5を予め知らせておく。 2 訓練実施者の一部に上記の1. 2. 3. 4. 5を予め知らせておく。 3 訓練実施者には、全く予告なしで行う。
	その他	
要望事項	<input type="checkbox"/> 消火器取扱い訓練を ( 届出時 ・ 後日 / ) 名程度実施したい。 <input type="checkbox"/> 訓練用消火器を借用したい。 <input type="checkbox"/> その他要望事項等 ( )	
受 付 欄	※ 経 過 欄	※ 備 考

訓練の内容	通報訓練	1 消防機関へ通報する火災報知設備から通報訓練を行う。注) 参照 (後志共同消防指令センターが対応。) 2 管轄する署・支署の一般加入電話へ発信し通報訓練を行う。注) 参照 (署・支署の職員が対応。) 3 事業所内で模擬通報訓練を行う。 4 その他～  注) 管轄する署・支署へ事前連絡による調整を行うこと。 ・余市消防署 23-3711 ・古平支署 42-2068 ・積丹支署 44-2352 ・仁木支署 32-2644 ・赤井川支署 34-6033
	消火訓練	1 出火想定室で使用中の火気器具燃料停止と、戸窓の閉鎖訓練を行う。 2 全ての防火戸、戸、窓の完全閉鎖訓練を行う。 3 消火器を出火想定場所まで運び、消火の動作をする。 4 訓練用消火器で消火訓練を行う。 5 屋内消火栓のホースを出火想定場所まで手びろめする。 6 屋内消火栓を使い、放水訓練を行う。 7 屋内消火栓を使い、屋外に設けた模擬火災を消火する。 8 動力消防ポンプを水利まで運び、出火想定場所までホースを手びろめする。 9 動力消防ポンプを使い、放水訓練を行う。 10 動力消防ポンプを使い、屋外に設けた模擬火災を消火する。 11 その他～
	避難訓練	1 自動火災報知設備のベルを鳴らす。 2 非常ベル、自動式サイレンを鳴らす。 3 携帯拡声器を使い、指定避難場所への誘導訓練を行う。 4 非常放送による出火場所と、避難場所の周知訓練を行う。 5 避難はしご、緩降機、すべり台、救助袋を使い、逃げ遅れ者の避難訓練を行う。 6 屋外避難階段を利用した避難訓練を行う。 7 ( ) による不特定多数者の避難誘導訓練を行う。 8 ( ) による逃げ遅れ者の有無確認訓練を行う。 9 ( ) による逃げ遅れ者の救出訓練を行う。 10 ( ) による要保護者の避難訓練を行う。 11 ( ) 簿を用いて人員の確認訓練を行う。 12 重要書類、重要物品の非常持ち出し訓練を行う。 13 その他～

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 上記の中から該当又は、希望する項目を選び出し、その数字を○で囲むこと。
- ※印の欄は、記入しないこと。
- 必要に応じ、防火対象物の配置図、各階平面図に、消防用設備等の配置及び避難経路を記入したものを添付すること。
- 訓練用消火器を借用する場合は、この届出と同時に借用依頼書を提出すること。